

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/02/13 ～2023/03/23)

1. 勉学の状況

2月の28日から授業が開始しました。授業が始まる前の週にオリエンテーションが行われ、交換留学生の為のオリエンテーションと工学部のオリエンテーションに参加しました。オリエンテーションでは、大学の施設の案内やメルボルンについて、クラブ活動の勧誘、履修する授業の相談コーナーなどがありました。

RMIT大学では、Canvasという学習システムを用いています。千葉大学でいうMoodleのようなもので、課題の提出場所や授業のビデオの視聴方法など慣れるのに少し時間がかかりました。私は、「Biomedical Image & Processing」、「Biomedical Instrument & electronics」、「Software Engineering」の3つの授業を受講しています。私は日本で勉強したことに関連がある授業を基準に授業を選択しました。基本的に交換留学生は、受講したいものを自由に選ぶことができますが、前提要件があるものもあるので、授業を選択する際は注意が必要です。日本にいる時に受講を予定していた科目が、到着後実際に履修登録をしようとするとう登録できず、今年から semester 1 から semester2 に移動していたことがあったので、取る授業は念の為余分に考えていた方が良いでしょう。同じ授業でも対面やオンライン、授業の日時が複数あり、選択出来る点が面白いと感じました。

1 授業につき週 3-5 時間授業があり、それにプラスして予習/復習の時間が必要になります。全体的にこちらの授業ではビデオ視聴等の予習が重要という印象があります。事前にビデオが公開されており、それを前提として授業が進んでいくので、授業の前にビデオを何度も視聴することをお勧めします。また、最初に座った席で固定のまま、ずっと授業を受けるので、最初の授業の時に話しやすい人を見つけて隣に座ることが大切だと思います。私も実際、最初の授業で隣になって話しかけた子と一緒に実験を進めたりしているので、授業で頼れる人を探すのは最初のうちは肝心だと思います。

2. 生活の状況

まず、住まいについてですが、私は、City キャンパスではなく、Bundoora キャンパスを利用して、そのキャンパス内の寮に住んでいます。トイレ・バスが自室にあり、キッチンとリビングが共有の3人部屋にしました。この寮は、比較的綺麗で、City から離れているのもあり家賃が安めなので、選んで良かったと思っています。メルボルンの交通手段としては、トラム(路面電車)、電車、バスがあります。寮から徒歩10分の場所にメルボルン中心部へ行けるトラムの駅があり、中心部までは約1時間かかりますが、乗り換えなしで行くことができます。City キャンパスにもオリエンテーションなどで何度か行きましたが、City キャンパスはメルボルンの中心に位置しており、交通の便がとても良かったです。メルボルンの中心部はフリートラムゾーンが設定されていて、中心部から一定数の観光地へは無料で移動できます。

食事については、外食するとなると日本よりもやはり高いので、なるべく自炊するようにしています。徒歩10分のところにスーパーが入った小さいショッピングモールがあるので、そこで食材を主に調達しています。最初の方は日本食が恋しくなっていたのですが、スーパーで醤油やお米などを手に入れることができ、アジアスーパーやお寿司屋さんも街中によく見かけるので、安心しました。

友達作りが一番心配していたことですが、オリエンテーションと寮で何人か友人を作ることができました。最初の2週間は頼れる人がおらず、枕やタオルなど日用品の買い物を一人で行い孤独でしたが、友人ができてからはお出かけしたり、ご飯を一緒に食べたりと生活が楽しくなっていました。

他の留学生は英語のレベルが高く、落ち込むことも多いですが、アウトプットの機会がある環境を大切にして日々過ごしたいと思います。



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/03/24 ～2023/05/01)

1. 勉学の状況

先週で大学の授業の8週目が終わりました。4/7-4/14までの期間は、イースター休暇のため、授業も休講でした。全体で授業は12週間あり、授業期間が終了した後、テストやレポート期間が設けられているようです。およそ4週間に1回のペースで、普段の課題に加え、評価の割合が高い重めの課題があり、その2回目の提出が終わりました。video レポート課題やエッセイ形式のテストなど授業によって課題形式は異なりましたが、どれも大変でした。普段は、平日の昼間に講義を受け、その前後で予習/復習を行い、平日の夜と土日のどちらかに課題を進めるというスケジュールが多いです。段々要領が掴めてきたので、残りの授業期間も無理のない範囲で頑張りたいです。受講している各授業について少し述べたいと思います。

①Biomedical Image & Processing

この授業では、MATLAB というソフトウェアを使って画像処理を学んでいます。週に1回3時間の授業があり、2人1組のペアで1つのレポートを毎回提出します。このソフトウェアを使うのは初めてでしたが、授業資料と事前に予習で用意されているビデオに分かりやすくまとめられているので、授業についていくのにはそこまで苦勞しませんでした。ですが、毎回のレポートの考察の部分は、英語でコメントを書くことに慣れていない上、専門用語が沢山出てくるので、ペアの子に助けられている所が大きいです。この授業の比重が大きい課題は、時間制限付きのエッセイ形式のテストでした。時間が足りず、文章量を多く書けず悔しい思いをしたので、次回のテストではもっと準備に時間をかけたいと思います。

②Biomedical Instrument & electronics

この授業は、週に2時間の電子回路を作成する実験と1時間の tutorial と呼ばれる電子回路の計算問題の小テストを解く時間があります。今までには、LED ライトの ON/OFF や気温を測るセンサを用いた回路、脈拍を測る電極を腕に貼り付けて信号を読み取る回路等を作成しました。毎回作成する回路がどんなものに役立つのか教えてもらいながら学べ、クラスメイトと協力しながら進められるので、楽しく受講できています。

③Software Engineering

この授業では、C++という言語でプログラミングを学んでいます。週に2時間の lecture、2時間の演習、1時間の tutorial があり、私が取っている授業の中では授業数が一番多いです。課題内容は、プログラミングコードの提出とレポートでその動作説明をするというものでした。授業資料の量がとても多いので、復習に時間を多く割くようにしています。

2. 生活の状況

4/7-4/10 までのイースターの期間は祝日なので、スーパーマーケットを含めたほとんどのお店が閉まっていることが多く、とても驚きました。オーストラリア出身の友人は実家に帰って家族と時間を過ごし、留学生はキャンプや旅行に出かけていたようでした。私は、イースター休暇の間に水族館やモール、美術館などに遊びに行きました。授業期間は常に課題に追われていたので、とても良いリフレッシュになりました。水族館や美術館など殆どの施設は、学生証を持っていれば、学割で無料または割引のチケットが買えます。

寮のイベントで、犬の散歩ボランティアに参加しました。動物の保護施設で保護されている犬や猫とふれあい、その内の 1 頭を少人数のグループになって散歩するというものでした。このイベントで数人と仲良くなれたので、何かしらイベントを見つけたら積極的に参加することが大事だと思いました。

もしメルボルンに留学を考えている方がいれば、いろんな季節に対応できるように服を持ってきた方が良いでしょう。メルボルンは天気が変わりやすく、朝夜は冷え、日中は晴れていても雨が急にふることが多いです。私は冬服をあまり持ってきていなかったもので、現地で数着購入しました。だんだんと寒くなってきたので、体調管理も気をつけたいです。



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/05/02 ～2023/07/02)

1. 勉学の状況

5月末に全ての授業が終わり、6月はテスト期間でした。テストの日時と場所は Canvas のお知らせで知らされていました。また、先生によっては出題範囲や形式も事前に教えてくれました。私の受けていた3つの授業は、全てテストがありました。対面のものやオンラインのもの、記述式のものや計算過程を書いた手書きの pdf を提出するものなど形式は様々でした。記述式の場合は writing 力が問われ、難しかったです。私の場合、幸いにもテストが同じ週に重なることがなかったので、1つ1つのテスト勉強に集中することができましたが、その分テスト期間がすごく長く感じられました。テスト日程が重なるとその分負担が大きくなり、勉強時間も十分に取れなくなってしまうと思うので、履修する授業を選択する際に既にテスト日程が公開されている場合は、そこも注意すると思います。Biomedical Instrumentation の授業はテストに加え、最終レポート課題がありました。最終レポートは論文形式で授業中に扱った回路の理論や実験方法、結果とまとめなどを word 形式で提出しました。テスト期間は寮の study room や図書館に籠もって勉強に励みました。

2. 生活の状況

テストが終わってから、同じくメルボルンに留学している日本人の友人とニュージーランドへ4泊5日の旅行に行きました。Queenstown, Lake Tekapo, Christchurch の3都市へ行き、山や青い湖など景色がとても綺麗で感動しました。メルボルンからニュージーランドへの飛行機代は日本からニュージーランドの飛行機代と比べて安いので、留学先から旅行に行けて良かったと思いました。帰国する前は、現地でできた友人と遊びに行き沢山思い出を作りました。特に仲良かった友達は、メッセージカードとお揃いのキーホルダーなどをプレゼントしてくれました。私もお世話になった友人には日本のお菓子(抹茶のキットカット等)を渡しました。留学を終えてみて、様々な国出身の友人と出会うことができ、心からメルボルンを留学先を選んで良かったと思いました。

